

1 各漁協及び市町による対策

内水面においては、各内水面漁業協同組合による飛来防止、有害鳥獣捕獲等が行われている。  
海面においては、市町等による有害鳥獣捕獲が実施されている。

- (1) ロケット花火等による追い払い
- (2) テグスによる飛来防除
- (3) カカシの設置による飛来防除
- (4) 銃器の使用が可能な場所における有害鳥獣捕獲
- (5) 竹を使った魚の隠れ場設置



## 2 地域連携対策

太田川水系及び県北部水系（江の川水系及び高梁川水系）にある漁場に近いねぐら・コロニーにおいて、専門家の指導を受けながら、一斉に対策を実施することによって、ねぐら・コロニーの集約を目指し、広域のかつ効率的な対策を実施している。

- (1) 小規模ねぐらにおける花火及び銃器による追出し
- (2) 河川におけるテグス張り等の飛来防止
- (3) ねぐら及びコロニーにおけるテープ張りによる除去
- (4) 銃器が使用可能な場所における捕獲





### 3 ドローンの応用

平成 27 年 12 月 10 日付け「カワウ等被害対策に無人航空機を利用する場合の指導指針」（水産庁増殖推進部栽培養殖課 制定）に基づき，人，周辺環境等に対する安全性を確保しつつ，その適正な実施によって効果的にカワウ被害対策を実施している。

- (1) 繁殖状況の確認
- (2) テープ張り
- (3) テグス張り
- (4) 追払い



ドローンによるテープ張り



ドローンで実施したテープ張り後の状況  
R3. 2. 15 白島（西部管理ユニット）





#### 4 戦略的捕獲

カワウの巣及び卵・ヒナに対する執着が強い傾向があり、人為的な影響を受けても成鳥（繁殖に参加している個体）がコロニーに戻ってきやすいという特徴があるため、繁殖期に特徴的に見られるカワウの行動特性を利用した戦略的・効率的な捕獲手法の検討を行っている。

#### 5 繁殖抑制

県東部のコロニーである津軽島において、ドライアイス法による繁殖抑制試験を実施している。

